



「心の自由」とゲーム・スマホ

校長 瀬戸口一郎

キンモクセイの甘い香りが漂い、秋の深まりを感じさせてくれます。本年も残すところ2か月を切りました。

先日の全校朝会で、南日本新聞のひろば欄、小学5年児童の「心の自由」という作文を紹介しました。一人で留守番をしたときのこと、まんがを読んで自由を楽しんでいたが、だんだん落ち着かなくなり、結局宿題をがんばったというお話です。作文の最後は、「好きなことを好きなだけするのが自由だ」と思っていた。でもやるべきことを残したままでは、心が自由にならない。すべきことに責任を持って取り組む。これからも、そんな姿勢を大切にしたい。」と結んでいました。

ゲーム・スマホの問題が本校でも顕著になってきました。数年前までは中学校の問題と思われていたシューティングゲーム(F)に関するトラブルが増えています。全校朝会で(F)を知ってるか聞いたところ、学年にかかわらず大勢の児童が手を上げました。宿題や家の手伝いをしない、家庭ルールを守らずに長時間する、課金をする、夜遅くまで、中には徹夜でゲームに没頭する児童がいることがわかりました。先日は、ゲームの世界でのけんかを学校へ持ち込んだケースもありました。ゲームを取り上げようとすると子供が暴れるという保護者の相談や、授業中眠たそうにして学習に集中できない児童がいるという担任からの報告もありました。

アンデシュ・ハンセン著「スマホ脳」(新潮新書)では、ゲーム・スマホが人間の脳に、特に子供たちに悪影響を及ぼしていることが述べられています。IT業界のトップは、我が子にデジタルデバイスを与えないと言われていています。睡眠障害やうつ、記憶力・集中力・学力低下など心の健康を害すると警鐘を鳴らしています。

一人一台タブレットの時代です。健康に十分配慮し、自分を律しながらゲーム・スマホを活用できる子供たちを育てていかなければなりません。それは同時に、すべきことに責任を持って取り組める子供たちを育成していくことにつながると思います。ゲーム・スマホをお子さんに買い与える前に、親が問題点をしっかり把握し、使い方やルールを子供ときちんと話をした上で決めることが大切です。

※守ります! 9時オフ(夜9時以降は電子機器を利用しません。)

修学旅行

6年生は、10月26・27日、鹿児島市と知覧方面へ修学旅行を行ないました。

両日とも天候に恵まれよい学習と体験ができたようです。



地域が育む「かごしまの教育」 県民週間(フリー参観週間)

11月1日～5日まで、自由参観週間でした。昨年度よりも多い、のべ74人の方が参観にいられました。

この週には、以下のような行事もありました。

第3回 学校運営協議会

学校運営協議委員の方に給食試食会とフッ化物洗口の様子を視察していただきました。



弁護士による いじめ防止教室

志布志市法律事務所弁護士 内藤由佳さんをゲストティーチャーにお迎えして、5年生にいじめ防止教室を行ないました。



【11月の主な行事予定】

- 1日(月)～7日 かごしま県民週間
- 3日(水) 文化の日(祝日)
- 5日(金) 地震津波避難訓練
 弁護士によるいじめ防止教室(5年生)
- 12日(金) 文化芸術音楽劇鑑賞会
 遊玄社「イソップランドの動物たち」
- 15日(月)～20日 家庭学習強調週間
- 17日(水) 志布志高校より職場体験(～18日)
 走り方教室(5・6年生)
- 23日(火) 勤労感謝の日(祝日)
- 26日(金) 授業参観、学級PTA、
 家庭教育学級(学校保健委員会)

